

新緑の季節を迎えました。「若い力」を感じるこの季節が一年で一番好きという方も多いのでは。爽やかな風と萌える緑には心が洗われますね。急速に高齢化が進む日本ですが、私たちが元気になれば、日本も元気になります。元気の素は何といても仲間との交流。財団職員同窓会の「同好会」や「大懇親会」に積極的に参加して、仲間との交流を広げ・深めましょう。

ご感想・ご意見などは下記のメールアドレスにお願いします。
追って、事務局よりメールにて返信させていただきます。
z.dousoukai@gmail.com

2015年 大懇親会のお知らせ

11月28日(土)開催決定!!

ヤマハ音楽振興会同窓生の皆様が“会員相互の親睦”をテーマとして、食事や会話を楽しんでいただく、年に一度の大集合「職員同窓会大懇親会」。今年度の日程が決定致しました。

今年、第8回目を迎える「大懇親会」は、多くの卒業生に知っていただける会に成長して参りました。

ヤマハ音楽振興会は勿論のこと、ヤマハOB会にもご支援をいただき、また会員各位にも多大なご支援・ご協力をいただきながら、毎年参加者数が増えている事は本当に嬉しいことです。

近年は海外にお住まいの会員数も増え、大懇親会のスケジュールに合わせて帰国予定を立てて下さったり、北海道・仙台・浜松・大阪など遠方からの参加者も増え、久々に会う笑顔がそこそこに溢れています。

今年の会場は昨年と同じ「クルーズ・クルーズ新宿」です。

和洋取り揃えた充実した料理内容は、参加の皆さまからも好評を得ています。今年もご期待ください。

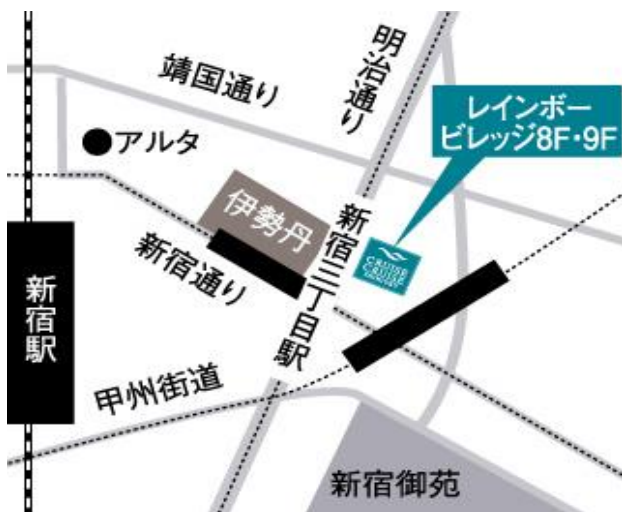
イベントの多い季節とは思いますが、同期・先輩・後輩と、年代や昔の役職を越えた“ヤマハの仲間”との楽しい時を一緒に過ごしましょう!

まずは今からスケジュールを調整していただき、ぜひご参加ください。（今回は告知のみのご案内です）

【日時】 11月28日(土) 開場/11:30 開宴/12:00 (終宴予定/14:00)

【会場】 クルーズ・クルーズ新宿

【参加費】 お一人様 6,000円



地下鉄 東京メトロ/丸の内線・副都心線・都営新宿線
「新宿三丁目駅」より徒歩1分
(E4出口直結)

JR線 「新宿駅」東口より徒歩5分

🚩 テニス同好会より

<同好会活動レポート>に代えて
この時期、テニス同好会としては行事がありませんでしたので、会員の
上林健吾さんにテニスに関するエッセイを寄稿していただきました。



「テニス」つながり

学生時代から続けてきたテニスがきっかけで、沢山の方々と交流させていただきました。
とくにヤマハ音楽振興会でタレント関連業務を担当していた当時、ヤマハのタレント、
メディア媒体、評論家、レコード会社の方々と「つま恋」「軽井沢」「伊豆」等々でテニス
を楽しみました。TV局のプロデューサーでもレコード会社の重役でもコート上では対等。
「もうすこし走れー」とか「もっとボールを良く見て」とか、今思えばよくもあのような失
礼な？ことが言えたもんだと赤面しています。しかし、結果、良好な関係ができ、仕事をす
ずめてゆこうで大変プラスになりました。現在はヤマハOB会「テニス同好会」で例会、
春、秋の温泉つき合宿等に参加しています。以前は外の試合に挑戦していましたが、体力低
下に伴い「継続は力」をテーマに無理せず年相応に楽しんでいます。最近のテニス仲間との
飲み会で近況報告のとき、ある人が「今日は体調と孫の話題はなしにしませんか」と提案。
すると全員がそれぞれの「テニス談義」を語り、大盛況でした。こういうのもありですね。
最近の日課は、車で10分ほどの「逗子マリーナ」に愛犬の散歩にでかけ、日ごとに違った表情を見せてくれる「相模湾」
「江の島」「富士山」等を眺め、気分転換しています。
そして、ヤマハに入社して今年で50年。同期の50周年OB会（秋）の開催に向け、幹事役として準備中です。



🚩 コーラス同好会より

2014年の第6回財団同窓会大懇親会で演奏してから、財団メンバーの入会が増えています。
財団設立当初からのメンバーで、エレクトーンコース普及初期の指導書など手書きが有名だった陶山孝子さんはアルトに、
やはり指導陣のアシスタントや教室関連の長かった小坂千賀子さんがソプラノに加わって、とうとう女性の数が男性を越え
ました。そして最近ご卒業で同窓会員になったばかりの元指導スタッフ森内秀夫さんが、入会直後早速参加！ハーモニーが
更にしっかりしたものになってきました。ヤマハ東日本OB会の会員でない方でも、財団同窓会の会員であれば参加できま
す。歌の好きなあなた！是非ごいっしょに！だいしょうぶ、むずかしい歌はありません!! <連絡窓口：石井ふみ子>



🚩 トピックス① 刺激的だったシニアバンドのコンサート

同窓会の会員である高橋秀文さんがメンバーのバンド「The Friends」のコンサート
があると聞いて、渋谷の「さくらホール」へ出かけました。
3月29日の日曜日、桜が咲き誇る美しい日でした。
このバンドは慶應義塾大学世界民族音楽研究会が母体で、大学卒業後25年たった1995
年に結成され、それ以来20年間コンサートを続けてきただけあって、当日の演奏は
実に楽しいものでした。
演奏された曲はビートルズ、日本民謡、ロック、カンツオーネ、そしてビーチボーイズ
と幅広く、しかも馴染みの曲が多いこともあって、休憩後の2部に入ってから、いつ
の間にか私も小声で一緒に歌っていることに驚きました。体も自然に揺れてきます。
15名のメンバー一人一人が個性を感じさせながら、それでいて全体が一体となって醸
し出すハーモニーが心に強く響きました。
約500名の聴衆全員が存分に楽しんだことは、熱い拍手で分かります。
高橋さんはヴォーカルで大活躍、特に1部のトリの「Amazing Grace」のソロは圧巻でした。





終了後、カラオケ同好会・コーラス同好会のメンバー15名でホール近くの居酒屋で飲み会。私を含めコーラス同好会のメンバー4名は、このコンサートに強い刺激を受け、自分たちもいつの日か自分たちのコンサートを！と誓い合いました。
(取材：石原勝年)

トピックス② お墓参りの女子会！

海外教室の歴史のなかで皆さんの記憶に残るヒトはいっぱい！そのうちのひとりに佐藤明雄さんがいます。彼は2005年5月若干55歳で、メキシコでも中国でもなく、あちらの世界へ旅立たれました。惜しむ人はたくさんですが、特に海外課の女性たちは、なにかにつけて佐藤さんを「お世話してあげた!？」ことを思い出しています。そんな仲間が、長野の高野真紀子さんのお里帰りを機会に集まりました。歳の差30余りの7人が三浦半島にある霊園へ。折しも駅前には河津桜が満開！きれいにお掃除し、持ち込みのお花とお線香を供えて念願の墓参を終えました。

もちろんそれだけでは終わりません！駅近くのお寿司屋さんで、おしゃべりと笑いにあふれた女子会になりました。とって「楽しい!?!」お墓参りでした。参加したのは下記の皆さんです。
<佐藤(荒井)香子、佐藤(渡辺)敦子、石垣(田中)敦子、高野(田中)真紀子、角(堀)浩子、武濤(大村)京子、石井(?)ふみ子=順不同?>



会員の方の近況① バンド活動の紹介(須見康彦さん)



財団を卒業してやがて8年。在職中に「下目黒グランドポップスオーケストラ」で鍛えられた(?)ミュージシャン魂を忘れず、「継続は力なり」を信じて続けているのがバンド活動です。メンバーと選曲から積み上げ練習を経て、ライブでお客さまに喜んでいただくことで得る達成感は何物にも代えられません。アンチエイジングも兼ね、可能な限り、続けていきたいと思っております。

<参加バンド情報> (ベースを担当)

1. ROSE ROSE (ローズ ローズ)

60年代欧米オールディーズをレパートリーとする8人編成のバンド。

2006年にフジテレビ出演。YOUTUBE検索→「140720 ROSEROSE LIVE」

2. ミッチー&レッドジャケット

昭和歌謡とエレキインストをレパートリーとする7人編成のバンド。メインボーカルのミッチーは財団現職のIさんです。YOUTUBE検索→「150214 ミッチーとレッドジャケット 夜桜お七」

3. 池袋VENTURES

ザ・ヴェンチャーズの神髓を只管追求する4人編成のバンド。昨年7月のライブがYOUTUBEにアップされて現在再生回数16000回を突破しています。検索→「池袋VENTURES」

*Facebookで適宜ライブのご案内をしております。
宜しければ「友達申請」をお待ちしております。



熱演中の池袋 VENTURES

🚩 会員の方の近況② 猫の言葉の研究の毎日です（竹田眞和さん）

我が家には家猫、外猫それぞれ4匹ずついる。

まあこれだけいると一日中お付き合いということになる。人間でいうと3歳から120歳と、託児所から特養まで同じ屋根の下である。全員ノラでよくもこんなに集まったものだと思う。最高齢は今のところ新潟での記録とか。これだけ幅広いと餌も違うし、医療費が大変である。

ちょっとおバカさんの子がいるのだが、動きと鳴き方によって何を言っているのか分かってきた。

「ニャオ（↘）ニャオ～（↘）」。これは「ご飯を早くくれ」と言っていると分かり、あげると喜んで食べる。

踊り場の窓の下で「ニャ（↔）ニャ～（↗）ニャ（↔）ニャ～（↗）」と鳴くと、「外を見たいので開けてくれ」ということだと分った。「今は冬だからダメだよ」と、こちら猫語で「ニャニャニャ（→）ニャ～（↷）」、うーん、ではなくて「ニャニャニャ！（→）ニャニャ！（→）」かな？うーん、違うか。

そのうち猫の方もダメだと分ると、別の窓の下に行って「ニャン（↘）ニャン（↘）ニャ～ン！（↷）」。「あっちがダメならこっちを開けてくれ！」と聞こえるのだ。

そこで、こちら猫語で「ニャン（↘）ニャニャ（→→）ニャン（↘）ニャニャ（→→）ニャニャニャン！（↘）」

「冬はこの窓も開けられないの！」と試してみたが、全く通じない。向こうの言っていることがなんとなく分かるのだから、こちらの言っていることも何とか通じる筈だと思うのだが…。

私はこの猫語の研究を一生の研究課題としている。同志の方がいらしたら、ぜひご連絡を！

「ニャニャニャ！！（> > >）」「いるんですか！！」。「ニャ（↷）ニャ～（↷）」「だろうね」。

「ニャ（↘）ニャア～！（↷）」「ではさようなら」。



【編集委員】（50音順）

荒井輝四郎 生駒芳正 石井心み子 烏野隆弘 大野睦男 緒方実 西岡晃 石原勝年（編集責任）
記事や編集に関するご意見・ご感想は、z.dousoukai@gmail.com までお気軽にどうぞ。